

NICE

Numazu association for International Communications & Exchanges

Vol.75

発行日 2010年9月30日
 発行者 NICE 沼津国際交流協会
 (企画広報部会)
 所在地 沼津市御幸町1番1号
 (事務局) 沼津市役所市民協働課内
 ☎055-934-4717
 Fax055-934-2582



沼津、岳陽が提携25年

訪問回来沼し「友好の誓い」調印

一般家庭訪ね民間交流
 沼津の好印象や三國志にも言及

2010年9月11日 沼津朝日

沼津市と岳陽市は、友好提携25周年を迎える。市役所では、この機会に、両市の友好関係の歴史を振り返り、今後の友好関係の発展を期す。市役所では、この機会に、両市の友好関係の歴史を振り返り、今後の友好関係の発展を期す。

沼津市と岳陽市は、友好提携25周年を迎える。市役所では、この機会に、両市の友好関係の歴史を振り返り、今後の友好関係の発展を期す。市役所では、この機会に、両市の友好関係の歴史を振り返り、今後の友好関係の発展を期す。

カラマズー訪問・岳陽来沼 ENJOY 国際交流

岳陽部会

沼津市・岳陽市友好25周年記念

岳陽市友好訪問団来沼

沼津市と岳陽市が昭和60年4月に友好都市提携を結んで今年で25年です。この記念すべき25周年を祝うため、岳陽市友好訪問団一行11名が9月6日来沼し9月9日離沼するまでの間、25周年記念式典や、市内の視察・市民との友好交流が行われました。

9月7日：友好訪問団一行は市長、議長を表敬訪問するため9時30分に市役所を訪れました。玄関ピロティでは、恵愛保育園の園児をはじめ一般の市民や市役所職員が、中国国旗の小旗を振って熱烈歓迎いたしました。

栗原市長、山崎議長からはそれぞれ歓迎の挨拶が、訪問団を代表して龔衛国団長から訪問の挨拶があり、沼津市から吊るし飾りと宝船が、岳陽市からは書が3幅25周年の記念品としてそれぞれに贈られました。



続いて沼津市のゴミ収集について、今年4月に香港のテレビ局が取材した様子をDVDで紹介しました。市民が細かくゴミを分別し、整然とステーションに出すようすなどに大変な関心を見せ、岳陽の市民にも是非これを紹介したいとの希望があり、コピーを贈りました。



午後からは沼津市立高校と御用邸記念公園の視察です。

市立高では、チアリーダーとプラスバンドに

よる歓迎があり、校内の様子や施設の視察を行いました。

ゼミ室を使った少人数での学習や、書道室・美術室を参観し、知識偏重ではない幅広い教育が行われていることに感心していました。

また、広い体育館と武道場や50mプールなど、体育施設が充実していることにも驚いていました。



御用邸記念公園では西附属邸を視察し、皇室の生活の様子など熱心に説明を受けていました。特に歪んで見える窓ガラスや、浴槽のない浴室の使用方法などに関心があったようです。

夜は100名余の出席をいただいたの友好25周年記念式典と歓迎会です。記念式典では、「25年にわたり築きあげられた友情と協働を称え、今後更なる交流を図る努力により、両市の友好と世界平和に貢献する。」と、高らかに宣言し「友好の誓い」に、栗原市長・龔衛国団長が署名し、改めて両市の友好促進を確認しあいました。



歓迎会は、既に来沼していた岳陽市教育研修生の歓迎を兼ねて開催しました。

訪問団と研修生の紹介をし、代表して龔衛国団長から「市長様、議長様をはじめこのような多くのご列席いただいた皆様の歓迎を受け、感激している。この思いを岳陽市民に伝えたい。」と挨拶がありました。

日本文化の紹介として、琴の演奏と日本舞踊

が披露され、華やかにそして和やかな雰囲気ではじめられ、最後は訪問団と沼津市民と一緒にステージに上がり大合唱となり、大いに盛り上がりました。

9月8日：泉水源地視察では、豊富な水量と、水質がきれいなことに驚いていました。前日のゴミ処理問題と併せ、環境問題の大切さを感じたのではないのでしょうか。その後、南消防署の通信指令室と沼津港周辺視察を行いました。びゅうおの展望室に上り、伊豆の山々、駿河湾、千本松原、市街地と続く360度のパノラマを楽しみましたが、富士山が見えなかったことが残念でした。



午後からは4グループに分かれて、家庭訪問です。それぞれの家庭で用意した昼食を食べながら交流しました。(詳細は後段で報告)

2日間にわたる公式行事が終わり、夜は国際交流協会主催の友好の宴(送別会)が安田会長、龔衛国団長の挨拶、訪問団石樹林顧問の乾杯で始まりました。3日間の交流により、初めから打ち解けた雰囲気、会話やビンゴゲームにと大いに盛り上がり、名残が尽きないままのお開きとなりました。

9月9日：朝9時ホテル前で「次は岳陽で会いましょう」「また沼津へ来て下さい」と、そこで固い握手を交わし、出発するバスを見送りました。再見！ さようなら！ 再見！

今回の一連の歓迎行事に対して、訪問団は大変良い印象を持って帰られたと信じています。

これもひとえにご協力いただいた皆様のおかげと感謝申し上げます。



朋友を招いて

青木 功

沼津岳陽友好締結25周年。今回は岳陽市から公式訪問団一行が大勢来沼する。

私も5年前20周年記念式典に岳陽市へ、公式訪問団の一員として参加した。

その際岳陽市の計画で、訪問団員を何組かに分け、各家庭に招き家族交流が行われた。私も古い友人の家庭に招かれ中国の家の中も見せて頂き、また家庭料理を頂きながら昔話に花が咲いた。招いてくれた陳邁群さんは20年前、沼津市立病院へ医師研修生として滞在した。彼はその当時を思い出しながら懐かしそうにアルバムを見せてくれ、奥様が運ぶ料理を食べながらの昔話に楽しい一時を過ごした。

こうした経験から、今回の歓迎行事の一環として家庭訪問の計画に参加することにした。

9月6日夜、岳陽市訪問団一行が東急ホテルに到着。一行の中に親友毛さんの姿が見えた。

彼と最初に会ったのは23年前長沙の飛行場だった。その後数回会ったがいつも控え目なおとなしい青年であった。今回は帰国華僑聯合会の副主席として来沼。彼も気付き、お互いに走り寄り、無意識に抱き合った。



今回はこの毛さんと周さんを、富士山の良く見える海辺にある娘の家に招いた。

娘も22年前に岳陽に長期留学し、毛さんをはじめ大勢の人にお世話になった。

日本料理や湖南料理に豆板醤、唐辛子を加え、アルバムの写真を見ながら、英語・中国語・日本語を交え、にぎやかに会話が盛り上がった。

私は岳陽とは長い繋がりがあり、今年で30年になる。今回訪問団を迎えて感じたのは、団員一人一人が自信に満ち溢れている姿である。沼津滞在4日間を通しこれを強く実感した。

カラマズー部会

平成22年度カラマズー市派遣市民訪問団

7月20日(火)短期高校留学生2名、沼津市立高校引率教員2名、生徒10名、及び市民訪問団員10名が出発しました。

カラマズー訪問記 感謝! 感動! カラマズー!

河野理恵子

今回、初めて沼津市民訪問団に参加しました。7月20日、私たち一行24名は2時間遅れで、シカゴ空港へと旅立ちました。入国にも時間がかかったため、カラマズーに到着したのは22時近くになってしまい、歓迎レセプションができなかったことが残念でした。それでも、市役所前でホストファミリーの皆さんが、私たちの来るのを待っていてくれました。



小鳥のさえざりで目をさまし、バルコニーにえさを食べに来る鳥やリスたちを見ながらの朝食をすませ、カラマズーの一日は始まりました。

1日目: Kalamazoo Valley Museum、ギター工場の見学、ビーズクラフトの製作。

そして、夜はカウボーイハットをかぶり、みんなでラインダンスを楽しみました。



2日目: ウェスタンミシガン大学で、ソーラーカーについての説明、製紙の流れの解説をう

けて、それぞれ紙を製作。その後、ウェスタンミシガン大学のメインキャンパス、学生寮、図書館を見学し、ここで学ぶ日本人学生に大学での生活についての話を聞きました。広大なキャンパスで、いろいろな国の人たちとともに学べる環境は、日本の大学にはない魅力的なものだと思います。

3日目: 教会での調理体験。午前中は、レストランのシェフの指導のもと、各自でお昼用にパステイを作りました。午後はチョコレートキャンディー作りとケーキデコレーション。みんなそれぞれ個性をいかしたケーキができあがりました。



4日目: 朝から雨模様で、何をしようかホストファミリーが一生懸命考えてくれました。午後から天気が回復に向かうということで、ミシガン湖のほうへ向かいました。Dune Ridesという砂丘を走るジープに乗り、がたがたする揺れや駆け下りるスロープのスリルを楽しみました。海のようなミシガン湖のほとりでひと時を過ごした後、美しいハーバー、サルガタックへと向かいました。サルガタックは、のどかで、心地よい雰囲気をもつ町でした。



5日目: アーミッシュという電気、電話などを使用せず、自動車ではなく馬車で移動する昔

ながらの生活様式を守っている人々が多数いるというシュブシュアナに行きました。

残念ながら日曜日だったため、生活の様子を垣間見ることはできませんでしたが、見かけた数名のアーミッシュの姿は、タイムスリップをしたような雰囲気をもっていました。

夜は送別会。会場となったガルレイクはとても素敵なおとこでした。カラマズー市と沼津市の代表の方のことばを聞き、記念品交換などを見て、この二つの都市の絆の強さを感じました。記念品として、各自にクリスマスカナリアの写真が渡されました。食事の後は、音楽を堪能して和やかな送別会でした。



6日目：バーディー家の牧場での羊のえさやり、テラズ農場でのチーズ作りの実演、鍛冶屋さんの実演、桶作りの実演、蜜蜂の巣の観察、耕作体験というプログラムでした。晴天のもと、広々とした農場で普段ではできないことを経験して有意義な1日でした。

7日目：午前中はマイヤー流通センターを見学。各方面にむけて出荷される商品を載せたベルトコンベアーの規模は圧巻でした。午後は、州都ランジングの州会議堂を見学。壁に掛けられた絵画、天井のデザイン、調度品の彫刻など、惹きつけられるものが満載でした。

8日目：午前中は牧場で、ラマのえさやり、乗馬を楽しんだ後、ラベンダー畑へ行きました。



午後はカラマズーバレーコミュニティカレッジでの風力発電についての説明と、飛行機博

物館の見学。さまざまな用途、歴史をもった飛行機、スペースシャトルの内部、アメリカの宇宙開発の歴史など興味深い展示をみることができました。

7月29日、帰国の日がやってきました。みんな別れを惜しみ、再会を誓い、ホストファミリーに見送られて、たくさんの思い出をむねに、カラマズーをあとにしました。



7月30日、シカゴ空港を2時間遅れで、出発した私たちの飛行機は、無事成田空港に到着し、渋滞もそれほど無く、私たちは沼津へ帰ってきました。この日までの11日間は、本当にあつという間でした。

私は、今回Brownさんご夫妻のお宅に滞在させていただきました。私を家族の一員として本当にあたたかく迎えてくださいました。

Brownさんご夫妻は、今回の沼津訪問団のプログラムに関して、中心となって活躍されていました。ほぼ毎日プログラム終了後は、同じように活躍されたMeilingerさんご夫妻、Foleyさんご夫妻とご一緒させていただく機会がありました。その時に、その日その日の感想、翌日のプログラムの確認を話し合っていました。

私たちが訪問するにあたって、どんなプログラムを計画しようかといろいろ話し合っていた苦労話も聞く機会がありました。

11日間の旅行日程で、カラマズーに滞在し経験した8日間は、本当に充実した素晴らしい日々でした。各所で説明をして下さる現地の方たちとかかわるプログラムを通じて、さまざまな方と出会えることができました。カラマズーの方々が、私たちが楽しく滞在できるようにいろいろと企画を考えてくださり、皆さんで協力してつくってくださったおかげだと思っています。すべての方がいつも笑顔で接してくれました。さまざまな経験に感動し、たくさんの思い出ができたことに、カラマズーの方々に心から感謝したいと思います。

ふれあい部会
国際交流フェア近づく

猛暑が続いた今夏も大分収まり、恒例の秋のイベントとして定着している国際交流フェアが近づいてきました。今年は10月24日(日)です。11月では寒いとの提案により、ひと月早い開催となりました。

16のブースからなる出展と5団体のステージが決まり交流を深めていきたいと考えております。毎年多くの市民の皆さんにも来場して頂き好評です。外国の文化に触れたり、忘れかけている日本の文化を体験出来る良い機会です。ご家族、お友達、ご近所の方々を誘って大勢参加して頂きたいと思っています。

又、会員の皆さんの協力なくしては成り立ちません、ふれあい部会員ばかりでなく、多くの方々のお手伝いを募っております。前日23日(土)の午後から準備に取り掛かりますのでご協力をお願いします。


国際交流フェア日程

会 場：学習院沼津游泳場
 前日準備：平成22年10月23日(土)
 12：30～16：00
 当日準備：平成22年10月24日(日)
 9：00～10：30
 開催時間：平成22年10月24日(日)
 11：30～15：30
 ステージ 13：00～15：00

国際理解教育部会
日本語を語る会 見学会

去る8月7日(土)、21日(土)、沼津市立図書館4F第1・2講座室にて、日本語を語る会の見学会が行われました。日本語を語る会の活動を広く知ってもらうため、また、一緒に活動してくれる方を募集するために開催しました。

初めての試みにもかかわらず、多くの方が参加してくれました。皆さんとても積極的で勉強熱心な方ばかりで、多くの質問があり関心の高さに驚かされました。



会の活動(勉強会や講習制度、スピーチコンテストや国際交流サロンなど)を始めNICEの事業を説明し、協会の全体像を把握してもらいました。そのあと、レベル別にグループ分けして行われているレッスンを見学してもらいました。とても充実した見学会だったと思います。

現在7名の申し込みを頂いています。今回の企画が成功したので、来年度も継続していきたいと思っています。


企画広報部会部会員募集

広報誌「NICE」を一緒に作ってみたい、沼津国際交流協会の企画に携わりたいと考えている方の参加を募集しています。

ご希望の方は沼津国際交流協会事務局(934-4717)まで申し込みください。